

2023年度

吉田学園動物看護専門学校

トリマー学科

授業科目 (科目ID)	ビジネスマナー		担当教員 (実務経験)	矢島 靖子 有 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	社会・組織の一員として必要不可欠な社会常識を理解し、初歩的な仕事を処理するために必要な知識やビジネスマナーを学び、社内外の人と良好な関係を築くために求められるコミュニケーション能力の習得を目的とする。					
到達目標	社会人常識マナー検定3級					
テキスト・ 参考図書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級、プリント教材					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	70%				
	レポート	%				
	小テスト	30%				
	提出物	%				
	その他	%				
履修上の 留意事項						
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	社会常識(社会と組織)1	社会人の自覚、キャリアを理解する、会社組織の成り立ち			
	2	社会常識(社会と組織)2	スキルと能力、変動する社会、雇用形態の多様化			
	3	社会常識(仕事と成果)1	目標の重要性、組織目標と個人目標			
	4	社会常識(仕事と成果)2	主体性の発揮、組織の活性化、企業と経営資源			
	5	社会常識(一般常識)	政治や経済に関する基礎用語、ビジネス用語など			
	6	社会常識(ビジネス計算)	ビジネスにおける計算力、数式を基にした課題の解決			
	7	検定対策 1	演習			
	8	コミュニケーション(ビジネスコミュニケーション)1	慶弔の重要性とポイント、職場のコミュニケーション、組織と人間関係、良い人間関係のためのコミュニケーション			
	9	コミュニケーション(ビジネスコミュニケーション)2	第一印象の重要性、立ち居振る舞い、身だしなみ、表情、お辞儀と挨拶、基本の挨拶言葉			
	10	コミュニケーション(社会人にふさわしい言葉遣い)1	敬語の種類、尊敬語・謙譲語の適切な使い方			
	11	コミュニケーション(社会人にふさわしい言葉遣い)2	職場での言葉遣い、話し方と聞き方、指示の受け方、報告の仕方、連絡の仕方、相談の仕方			
	12	コミュニケーション(ビジネス文書)1	ビジネス文書の書き方と留意点、社内文書の種類・形式			
	13	コミュニケーション(ビジネス文書)2	社内文書作成、報告書、議事録、通知文			
	14	コミュニケーション(ビジネス文書)3	グラフの種類と特徴			
15	検定対策 2	演習				

2023年度

吉田学園動物看護専門学校

トリマー学科

授業科目 (科目ID)	ビジネスマナー		担当教員 (実務経験)	矢島 靖子 有 無 <input checked="" type="checkbox"/>	
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	社会・組織の一員として必要不可欠な社会常識を理解し、初歩的な仕事を処理するために必要な知識やビジネスマナーを学び、社内外の人と良好な関係を築くために求められるコミュニケーション能力の習得を目的とする。				
到達目標	社会人常識マナー検定3級				
テキスト・ 参考図書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級、プリント教材				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%			
	レポート	%			
	小テスト	30%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	ビジネスマナー(職場のマナー)	出勤時から終業時、公私、機密のけじめ		
	2	ビジネスマナー(来客対応)1	上司や担当者との約束がある場合、来客への対応		
	3	ビジネスマナー(来客対応)2	受付から見送り、約束のない来客への対応		
	4	ビジネスマナー(電話対応)1	受け方の基本手順、名乗りから切り方、伝言メモ		
	5	ビジネスマナー(電話対応)2	FAXの送信、電話の掛け方と携帯電話の心得		
	6	ビジネスマナー(交際業務)	慶事のマナー、結婚、弔事のマナー、病氣見舞い		
	7	ビジネスマナー(文書類の受取りと発送・他)	文書の取扱い、郵便の役割、さまざまな配送サービス、オフィス環境と事務機器		
	8	検定対策3	演習		
	9	検定対策4	総合演習		
	10	検定対策5	総合演習		
	11	検定対策6	総合演習		
	12	検定対策7	総合演習		
	13	検定対策8	総合演習		
	14	検定対策9	総合演習		
15	検定対策10	総合演習			

授業科目 (科目ID)	ペットショップ経営		担当教員 (実務経験)			大沼 克彰 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ペットショップ経営		
	対象年次・学期	1年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位		
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	8	時間数	15時間		
授業目的	独立するにあたってのビジョン、他店との差別化など想像力を養う。							
到達目標	自分の将来のビジョンを明確に想像することができ、目標設定ができるようになる。							
テキスト・ 参考図書等								
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準					
	試験	60%						
	レポート	%						
	小テスト	40%						
	提出物	%						
	その他	%						
履修上の 留意事項	基本的に質疑応答の形のスタンスで授業を進める。							
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容					
	1	独立開業について	将来の目標、自分のやりたい事はなにか?					
	2	開業するためのビジョン作り1	どんなお店にしたいか					
	3	開業するためのビジョン作り2	他店との差別化					
	4	開業するには1	必要な資格・小テスト					
	5	開業するには2	手続きに関して					
	6	お店を軌道にのせるには1	資金、マーケティング					
	7	お店を軌道にのせるには2	様々な集客方法					
	8	お店を軌道にのせるには3	他店との違い、開店から維持するには					
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
15								

授業科目 (科目ID)	愛玩対策	担当教員 (実務経験)	前鼻 彰人 動物病院		
対象年次・学期	1年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	3単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	23	時間数	45時間
授業目的	愛玩動物飼養管理士2級の合格レベル、知識を覚える。				
到達目標	愛玩動物飼養管理士2級に合格する。				
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物飼養管理士2級教本第1巻・第2巻 課題報告問題集				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	評価試験:70% 小テスト:30%		
	レポート	%			
	小テスト	30%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	愛玩動物飼養管理士の社会活動	日本愛玩動物協会とは、愛玩動物飼養管理士について		
	2	動物愛護論	動物観について、動物愛護運動の歴史、現代の動物愛護の思想		
	3	人と動物の関係学	関係学とは、人間社会に貢献する動物、子どもの発達と動物		
	4	動物のからだの仕組みと働き 1	基本の仕組み、消化器、循環器、腎臓・肝臓		
	5	動物のからだの仕組みと働き 2	感覚器、神経系、生殖器		
	6	動物の飼養管理 1	総論、健康と疾病、管理衛生		
	7	動物の飼養管理 2	犬の歴史、犬の飼養管理、猫の歴史、猫の飼養管理		
	8	動物の飼養管理 3	ウサギ、ハムスターの飼養管理		
	9	動物の飼養管理 4	モルモット、フェレット、チンチラの飼養管理		
	10	動物の飼養管理 5	鳥類総論、フィンチ・インコ/オウム類、繁殖・手乗りについて、爬虫類の飼養管理		
	11	動物のしつけ	学習理論、犬と猫の社会化、犬のしつけ、猫のしつけ ・ 小テスト		
	12	動物愛護管理法 1	法令概論、法の制定・改正の歴史、目的・基本原則、基本指針、所有者又は占有者の責務		
	13	動物愛護管理法 2	動物販売業の責務、第一種動物取扱業について、第二種動物取扱業について		
	14	動物愛護管理法 3	周辺環境の保全に係る措置、特定動物について、35条～40条、罰則		
15	その他の法令	狂犬病予防法、身体障害者補助犬法、ペットフード安全法、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律			

履修主題・履修内容	16	法令まとめ	まとめ、問題解説
	17	飼養管理まとめ	まとめ、問題解説
	18	検定対策 1	課題報告問題
	19	検定対策 2	課題報告問題
	20	検定対策 3	課題報告問題
	21	検定対策 4	課題報告問題
	22	検定対策 5	課題報告問題
	23	検定対策 6	課題報告問題 ・ 小テスト
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			

2023年度

吉田学園動物看護専門学校

トリマー学科

授業科目 (科目ID)	施設見学・特別講義	担当教員 (実務経験)	中山 聡士 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
対象年次・学期	1年時・通年	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義 実習	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	動物園の役割・使命を理解する 動物関連施設について学ぶ 専門的かつ高い技術を学ぶ 管理センター・保護活動について理解する				
到達目標	上記内容を学び動物飼育に対する理解を深める。				
テキスト・ 参考図書等					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%			
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	100%			
	その他	%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	動物園見学1	動物園の役割		
	2	動物園見学2	動物園の使命		
	3	動物園見学3	絶滅危惧種の動物達の現状		
	4	動物施設見学1	動物関連の施設見学1		
	5	動物施設見学2	動物関連の施設見学2		
	6	動物施設見学3	動物関連の施設見学3		
	7	カットコンテスト見学1	プロの技術を学ぶ1		
	8	カットコンテスト見学2	プロの技術を学ぶ2		
	9	カットコンテスト見学3	プロの技術を学ぶ3		
	10	動物管理センター見学1	管理センターの業務内容について		
	11	動物管理センター見学2	捨て犬、捨て猫の現状について		
	12	実演講習1	外部講師による実演1		
	13	実演講習2	外部講師による実演2		
	14	講話1	動物保護団体の現状について1		
15	講話2	動物保護団体の現状について2			

授業科目 (科目ID)	店舗実習	担当教員 (実務経験)	中山 聡士 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> トリマー		
対象年次・学期	1年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	実習	授業回数(1回90分)	30	時間数	60時間
授業目的	講義・学内実習で学んだ知識と技術を基に、実務経験を通して総合的な動物美容、販売が実践できるための基礎能力を習得する。				
到達目標	施設での実務経験を通してグルーミング技術や知識の向上を目指す。				
テキスト・ 参考図書等	実習着 グルーミング道具				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	実習先での評価を基に総合評価、実習日誌で評価		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	50%			
	その他	50%			
履修上の 留意事項	実際の現場での実習になるので店舗の方への感謝を忘れずに取り組む。 接客業の基本を直に学び、プロの技術を学ぶ。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1 2	実習オリエンテーション	・個人票作成 ・出発式参加 ・実習参加へ向けた技術 知識 礼儀などの確認 ・日誌記入について		
	3 4	実習オリエンテーション			
	5 6	実習オリエンテーション			
	7 8	実習オリエンテーション			
	9 10	店舗実習	店舗業務の補助 見学 各実習施設により履修内容に変更の可能性があります		
	11 12	店舗実習			
	13 14	店舗実習			
	15 16	店舗実習			
	17 18	店舗実習			
	19 20	店舗実習			
	21 22	店舗実習			
	23 24	店舗実習			
	25 26	店舗実習			
	27 28	店舗実習			
29 30	実習報告会	実習報告会(準備含)			

授業科目 (科目ID)	動物看護学		担当教員 (実務経験)			佐藤 真帆 動物病院		
			有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分		必修		単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)		15		時間数	30時間
授業目的	動物診療助手資格の取得							
到達目標	動物の基礎から動物病院での応用実践まで、関係性を予測し実施することができる。							
テキスト・ 参考図書等	目指せ早期発見！わかる犬の病気							
評価方法・ 評価基準	評価方法		評価割合(%)		評価基準			
	試験		70%					
	レポート		%					
	小テスト		30%					
	提出物		%					
	その他		%					
履修上の 留意事項								
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題			履修内容			
	1	動物のからだ 1			犬種、猫種			
	2	動物のからだ 2			細胞からの組織、器官			
	3	動物のからだ 3			動物の筋肉と骨格			
	4	動物のからだ 4			消化器の構造と生理			
	5	動物のからだ 5			呼吸器の構造と生理			
	6	動物のからだ 6			皮膚の構造と生理			
	7	動物のからだ 7			耳、眼の構造と生理			
	8	動物のからだ 8			泌尿器の構造と生理			
	9	動物のからだ 9			循環器の構造と生理			
	10	動物のからだ 10			循環器の構造と生理			
	11	動物のからだ 11			血液細胞の種類と免疫			
	12	動物のからだ 12			神経系の構造と生理			
	13	動物のからだ 13			内分泌の種類とはたらき			
	14	動物のからだ 14			内分泌の種類とはたらき			
	15	動物のからだ 15			生殖器の構造とはたらき			

授業科目 (科目ID)	動物看護学		担当教員 (実務経験)		佐藤 真帆 動物病院	
			有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>		
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	動物診療助手資格の取得					
到達目標	動物の基礎から動物病院での応用実践まで、関係性を予測し実施することができる。					
テキスト・ 参考図書等	目指せ早期発見！わかる犬の病気					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	70%				
	レポート	%				
	小テスト	30%				
	提出物	%				
	その他	%				
履修上の 留意事項						
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	内科実習 1	各種保定法			
	2	内科実習 2	バイタルチェック			
	3	内科実習 3	シリンジ、注射針の扱い方			
	4	内科実習 4	採血実習と留置			
	5	内科実習 5	輸液の準備			
	6	内科実習 6	接遇マナーと電話対応			
	7	動物内科学 1	各種予防接種の種類、外部寄生虫の予防			
	8	動物内科学 2	マイクロチップと入院管理			
	9	動物内科学 3	食餌指導とデンタルケア指導			
	10	動物検査学実習 1	各種検体処理の種類と方法			
	11	動物検査学実習 2	尿検査			
	12	動物検査学実習 3	糞便検査			
	13	動物検査学実習 4	血液検査 (CBCと生化学検査)			
	14	動物検査学実習 5	血液検査 (塗抹作成と白血球分類)			
15	動物検査学実習 6	レントゲン検査(ポジショニングと放射線防護)				